



わたしたちの環境活動・SDGs活動



沖縄県立北部農林高等学校

エコ部

沖縄県名護市字宇茂佐13番地

# 美ら島地域応援プロジェクト 未来へつなぐゆいまーるの木



未来へとどけ!

沖縄本島には、自然豊かで亜熱帯気候が作り出す「ヤンバルの森」が存在しています。ヤンバルの森には、多くの固有動植物、希少種が生息しており、世界自然遺産にも登録されました。その緑豊かな森を、濃いピンク色に染め、新春を知らせてくれる花が寒緋桜です。沖縄の桜は、毎年1月頃から咲き始め、各地で桜祭りが開催されます。日本で一番早く開花し、新春を知らせる沖縄の桜ですが、近年立ち枯れや老木が目立ちます。そこで、「未来へ残せ、沖縄の美ら桜」をテーマに、北農さくらプロジェクトを立ち上げ、研究活動、植栽活動を地域と連携し、環境問題への啓発へと繋げ活動を行い、産学官一体となり沖縄の桜を守るため生徒、市民、同窓会を巻き込んで取り組んでいます。

また、桜プロジェクトに取り組む中で、ヤンバルにも沖縄在来のお茶があることを知りました。戦前からお茶栽培が盛んに行われていましたが、高齢化や機械の老朽化により、生産が終了した地域があり、貴重な在来のお茶が途絶えたとのことでした。しかし、耕作放棄地になり、草で覆われた茶の木を復活させようとして取り組んでいる方のニュースを見て、農業高校で学ぶ生徒として「どうにかしたい」と考え、連絡を取りました。現在は、一緒に草刈作業から始めています。沖縄の貴重な資源である桜とお茶の木の復活に取り組む、未来へ引き継ぎます。